



# 平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月5日

上場会社名 日本パーカライジング株式会社  
コード番号 4095 URL <https://www.parker.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 乾太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 田村 裕保

TEL 03-3278-4333

四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日

配当支払開始予定日

平成30年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	59,987	12.2	8,196	△5.4	10,045	△3.3	6,013	△5.6
30年3月期第2四半期	53,466	5.9	8,663	15.7	10,392	34.4	6,370	34.1

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 4,323百万円 (△61.8%) 30年3月期第2四半期 11,310百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	49.56	—
30年3月期第2四半期	52.50	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	220,088	165,729	63.8	1,156.33
30年3月期	219,988	163,255	62.9	1,140.28

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 140,311百万円 30年3月期 138,352百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	10.00	—	13.00	23.00
31年3月期	—	11.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年3月期期末配当金の内訳 普通配当11円00銭 記念配当2円00銭

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	116,500	1.4	18,200	1.2	20,600	△0.7	12,600	△1.0	103.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1 社 (社名) 日照パーカー表面処理有限公司 、 除外 1 社 (社名) パーカー興産(株)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	132,604,524 株	30年3月期	132,604,524 株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	11,262,744 株	30年3月期	11,267,473 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	121,335,456 株	30年3月期2Q	121,334,286 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	11
(会計方針の変更) .....	11
(追加情報) .....	11
(セグメント情報等) .....	12
3. 補足情報 .....	13
(1) 四半期毎の業績の推移 (連結) .....	13
(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 .....	14
(3) 四半期毎の業績の推移 (提出会社個別) .....	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(平成30年4月1日から平成30年9月30日まで)におけるわが国経済は、堅調な設備投資や雇用環境の改善が続くなど緩やかな回復基調となりました。世界経済においても、米国での着実な景気回復などを中心に緩やかな回復が続いておりますが、米国・中国間の通商政策に基づく貿易摩擦問題の動向など、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境は、主要な供給先であります自動車業界では、国内の自動車生産は伸び悩んでおり、中国をはじめ海外においても成長が鈍化しております。もう一つの柱である鉄鋼業界では、国内外の鋼材需要は堅調に推移しております。

このような状況のなか、当社グループでは、当連結会計年度を最終年度とする第2次中期経営計画のもと、「事業基盤の強化・拡大」、「技術立社」、「企業体質の基盤強化」を三本柱に既存分野の更なる深耕、新規事業分野への積極的なチャレンジを推進しております。また、お客様満足度を高める迅速で的確なサービスと高品質製品供給のために、グローバルな品質改善活動と開発体制強化に努めております。

この結果、当第2四半期の連結業績は次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
<b>当第2四半期累計期間 (平成31年3月期)</b>	<b>59,987</b>	<b>8,196</b>	<b>10,045</b>	<b>6,013</b>
前第2四半期累計期間 (平成30年3月期)	53,466	8,663	10,392	6,370
増減金額	6,521	△467	△347	△356
増減率	12.2%	△5.4%	△3.3%	△5.6%

**売上高**は59,987百万円と前第2四半期累計期間(以下、前期)に比べ6,521百万円(12.2%)の増収となりました。装置事業で設備物件の検収があがり増収で推移いたしました。事業の種類別セグメント毎の売上高は、前期に比べ薬品事業が4.2%、装置事業が66.6%、加工事業が4.9%の増収、その他が△4.8%の減収で推移しております。また、地域別セグメントは、国内が5.3%、アジアが28.9%、欧米が2.9%の増収で推移しております。(セグメントの増減率は外部顧客売上高を基礎にしております。)

**営業利益**は8,196百万円と前期に比べ△467百万円(△5.4%)の減益となりました。装置事業をはじめすべての報告セグメントで収益率が低下しており、売上総利益は21,385百万円と275百万円(1.3%)の増益となりました。**販売費及び一般管理費**は国内子会社の吸収合併による統合費用等により13,188百万円と前期に比べ742百万円(6.0%)増加いたしました。この内訳は人件費が1.3%、経費が13.2%それぞれ増加いたしました。

**経常利益**は10,045百万円と前期に比べ△347百万円(△3.3%)の減益となりました。**営業外の収支**は1,849百万円の収入となり、前期に比べ119百万円増加いたしました。この結果、当第2四半期累計期間の**総資産経常利益率**(ROA)は4.6%(年換算9.2%)と前期に比べ0.6ポイント減少いたしました。

**親会社株主に帰属する四半期純利益**は6,013百万円と前期に比べ△356百万円(△5.6%)の減益となりました。この結果、当第2四半期累計期間の**自己資本利益率**(ROE)は4.3%(年換算8.6%)と前期に比べ0.7ポイント減少いたしました。

## 【為替の影響額】

海外業績の換算による損益計算書に与える影響額は、売上高で308百万円程度の増収、営業利益で24百万円程度の増益となっております。

## 【事業の種類別セグメントの概況】

(単位：百万円)

報告セグメント	外部顧客に対する売上高				セグメント利益又は損失(△) (営業利益)			
	前第2四 半期累計	当第2四 半期累計	増減額	増減率	前第2四 半期累計	当第2四 半期累計	増減額	増減率
薬品事業	22,389	23,328	938	4.2%	4,594	3,964	△629	△13.7%
装置事業	6,951	11,584	4,633	66.6%	363	409	46	12.7%
加工事業	21,642	22,712	1,069	4.9%	4,194	4,309	114	2.7%
その他	2,482	2,362	△120	△4.8%	105	104	△0	△0.8%
調整額(消去)	—	—	—	—	△595	△592	2	—
連結損益計算書計上額	53,466	59,987	6,521	12.2%	8,663	8,196	△467	△5.4%

## ① 薬品事業

外部顧客に対する売上高は23,328百万円と前期に比べ938百万円(4.2%)の増収となり、営業利益は3,964百万円と△629百万円(△13.7%)の減益となりました。当事業部門は、金属などの表面に耐食性、耐摩耗性、潤滑性など機能性向上を目的とする化成皮膜を施し、素材の付加価値を高める薬剤などを中心に製造・販売しております。国内では連結子会社の増加により増収となり、海外ではタイで金属表面処理剤の販売が堅調に推移いたしました。収益面では原材料費の高騰や、国内子会社の吸収合併による統合費用等の影響を受け、減益で推移いたしました。

## ② 装置事業

外部顧客に対する売上高は11,584百万円と前期に比べ4,633百万円(66.6%)の増収となり、営業利益は409百万円と46百万円(12.7%)の増益となりました。当事業部門は、輸送機器業界を中心に前処理設備及び塗装設備や粉体塗装設備などを製造・販売しております。当事業の業績は物件ごとの検収時期の影響を受けるため、短期の業績比較は難しい事業であります。中国では大幅に増収となる一方で収益率は低下いたしました。

## ③ 加工事業

外部顧客に対する売上高は22,712百万円と前期に比べ1,069百万円(4.9%)の増収となり、営業利益は4,309百万円と114百万円(2.7%)の増益となりました。当事業部門は、熱処理加工、防錆加工、めっき処理などの表面処理の加工サービスを提供しております。国内では自動車部品における加工処理の需要増加により、防錆・熱処理加工ともに順調に推移いたしました。海外では前期後半以降、メキシコの新工場が順調に稼働しております。収益面では米国や中国で設備改修のための一時的な費用が発生したこともあり、前期並みに留まりました。

## ④ その他

外部顧客に対する売上高は2,362百万円と前期に比べ△120百万円(△4.8%)の減収となり、営業利益は104百万円と△0百万円(△0.8%)の減益となりました。当事業部門は、為替の影響を受けない国内を中心に、ビルメンテナンス事業、運送事業、太陽光発電事業などを営んでおります。

## 【投資情報】

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間
減価償却費(有形固定資産)	2,454	2,772
設備投資額(有形固定資産)	3,044	4,432
研究開発費	1,150	1,044
有利子負債	3,621	3,008

## (2) 財政状態に関する説明

**資産合計**は、前連結会計年度末と比較し 100 百万円増加し 220,088 百万円となりました。主な増減といたしましては、流動資産では受取手形及び売掛金が△1,542 百万円減少した一方で、たな卸資産が 1,881 百万円、前渡金などにより流動資産その他が 1,046 百万円それぞれ増加いたしました。固定資産では有形固定資産 300 百万円増加した一方で、役員保険や投資有価証券の時価の減少などにより投資その他の資産が△922 百万円減少いたしました。

**負債合計**は、前連結会計年度末と比較し△2,373 百万円減少し 54,358 百万円となりました。主な増減といたしましては、流動負債では支払手形及び買掛金が△376 百万円、前受金などにより流動負債その他が△504 百万円それぞれ減少いたしました。固定負債では長期借入金が△277 百万円、繰延税金負債などにより固定負債その他が△744 百万円それぞれ減少いたしました。

非支配株主持分を含めた**純資産合計**は、前連結会計年度末と比較し 2,473 百万円増加し 165,729 百万円となりました。主な増減といたしましては、利益剰余金が 4,405 百万円、非支配株主持分が 515 百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金と為替換算調整勘定の減少などにより、その他の包括利益累計額が△2,455 百万円減少いたしました。

以上の結果、自己資本比率は 63.8%と前連結会計年度末と比較し 0.9 ポイント増加するとともに、1 株当たり純資産は 1,156 円 33 銭と 16 円 05 銭増加いたしました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成 31 年 3 月期の業績予想につきましては、当第 2 四半期累計期間の業績は計画の範囲内で推移しているものと判断し、平成 30 年 5 月 14 日に発表いたしました業績予想の数値から変更はありません。

## 【通期連結業績（平成 31 年 3 月期）の見通し】

(単位：百万円)

	平成 31 年 3 月期 (予想)	前期比	進捗率 (第 2 四半期)
売上高	116,500	1.4%	51.5%
営業利益	18,200	1.2%	45.0%
経常利益	20,600	△0.7%	48.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	12,600	△1.0%	47.7%

(通期予想は、現時点の入手可能な情報に基づき判断したものであり、経済情勢の変化、市場の動向、為替レートの変動などにより乖離する可能性があります。)

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	55,673	55,422
受取手形及び売掛金	39,980	38,437
有価証券	1,632	1,200
商品及び製品	2,725	2,988
仕掛品	1,907	3,648
原材料及び貯蔵品	4,598	4,474
その他	3,572	4,618
貸倒引当金	△167	△163
流動資産合計	109,921	110,628
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,443	21,202
機械装置及び運搬具（純額）	16,621	16,104
土地	16,139	16,076
建設仮勘定	4,615	4,816
その他（純額）	2,077	1,999
有形固定資産合計	59,897	60,198
無形固定資産	1,390	1,406
投資その他の資産		
投資有価証券	37,397	37,198
退職給付に係る資産	104	86
その他	11,371	10,666
貸倒引当金	△96	△96
投資その他の資産合計	48,777	47,854
固定資産合計	110,066	109,459
資産合計	219,988	220,088
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,201	20,825
短期借入金	190	104
1年内返済予定の長期借入金	1,271	1,010
未払法人税等	2,474	2,335
賞与引当金	2,578	2,547
その他	12,179	11,675
流動負債合計	39,895	38,500
固定負債		
長期借入金	1,601	1,324
退職給付に係る負債	9,491	9,536
その他	5,742	4,998
固定負債合計	16,836	15,858
負債合計	56,732	54,358

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,560	4,560
資本剰余金	4,286	4,286
利益剰余金	122,455	126,860
自己株式	△7,539	△7,530
株主資本合計	123,762	128,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,943	12,341
繰延ヘッジ損益	3	4
為替換算調整勘定	1,693	△169
退職給付に係る調整累計額	△50	△42
その他の包括利益累計額合計	14,589	12,134
非支配株主持分	24,902	25,418
純資産合計	163,255	165,729
負債純資産合計	219,988	220,088



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	53,466	59,987
売上原価	32,356	38,602
売上総利益	21,109	21,385
販売費及び一般管理費	12,446	13,188
営業利益	8,663	8,196
営業外収益		
受取利息	108	111
受取配当金	326	387
受取賃貸料	196	236
持分法による投資利益	539	560
為替差益	265	144
その他	442	658
営業外収益合計	1,879	2,098
営業外費用		
支払利息	15	27
たな卸資産除却損	14	59
その他	119	162
営業外費用合計	149	249
経常利益	10,392	10,045
特別利益		
固定資産売却益	16	34
投資有価証券償還益	70	-
その他	-	0
特別利益合計	86	34
特別損失		
固定資産除売却損	80	87
環境対策費	14	-
その他	7	-
特別損失合計	102	87
税金等調整前四半期純利益	10,376	9,992
法人税等	2,799	2,708
四半期純利益	7,577	7,284
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,207	1,271
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,370	6,013

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	7,577	7,284
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,965	△469
為替換算調整勘定	△249	△2,298
退職給付に係る調整額	8	9
持分法適用会社に対する持分相当額	7	△201
その他の包括利益合計	3,732	△2,960
四半期包括利益	11,310	4,323
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,024	3,643
非支配株主に係る四半期包括利益	1,285	680

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10,376	9,992
減価償却費	2,515	2,871
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△41	△29
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	84	99
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1	△110
受取利息及び受取配当金	△435	△498
支払利息	15	27
為替差損益(△は益)	△231	11
持分法による投資損益(△は益)	△539	△560
固定資産売却損益(△は益)	△8	△33
有形固定資産除却損	43	31
売上債権の増減額(△は増加)	△640	1,122
たな卸資産の増減額(△は増加)	△176	△2,118
前渡金の増減額(△は増加)	△784	△1,390
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,535	△125
未払金の増減額(△は減少)	△254	△42
前受金の増減額(△は減少)	172	603
未払消費税等の増減額(△は減少)	△282	105
その他	△473	△435
小計	7,799	9,519
利息及び配当金の受取額	656	732
利息の支払額	△22	△42
法人税等の支払額	△3,467	△2,763
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,966	7,445
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,916	△612
定期預金の払戻による収入	1,775	218
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△197	△745
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	863	401
有形固定資産の取得による支出	△3,044	△4,432
有形固定資産の売却による収入	123	73
貸付けによる支出	△0	△11
貸付金の回収による収入	167	5
その他	331	356
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,897	△4,746

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	8	4
短期借入金の返済による支出	△30	△90
長期借入れによる収入	50	25
長期借入金の返済による支出	△264	△530
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	8	11
配当金の支払額	△1,235	△1,605
非支配株主への配当金の支払額	△572	△659
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△75	—
その他	△272	△132
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,383	△2,976
現金及び現金同等物に係る換算差額	△63	△690
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△378	△967
現金及び現金同等物の期首残高	42,284	53,149
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,906	52,181

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

税効果会計に係る会計基準の適用指針の適用

「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 平成30年2月16日)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これにより個別財務諸表における子会社株式等に係る将来加算一時差異の取扱いを、連結財務諸表における子会社株式又は関連会社に対する投資に係る将来加算一時差異の取扱いに合わせ、繰延税金負債の取崩しを行いました。

なお、当該変更に伴う影響は軽微であります。

(追加情報)

『「税効果会計に係る会計基準」の一部改正』等の適用

『「税効果会計に係る会計基準」の一部改正』(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	22,389	6,951	21,642	50,984	2,482	53,466	—	53,466
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	590	195	18	804	576	1,381	△1,381	—
計	22,980	7,147	21,660	51,788	3,059	54,847	△1,381	53,466
セグメント利益又は 損失(△)	4,594	363	4,194	9,152	105	9,258	△595	8,663

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、運送事業、太陽光発電事業などを含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△595百万円には、セグメント間取引消去212百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△807百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	23,328	11,584	22,712	57,625	2,362	59,987	—	59,987
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	467	128	23	618	616	1,235	△1,235	—
計	23,796	11,712	22,735	58,244	2,978	61,223	△1,235	59,987
セグメント利益又は 損失(△)	3,964	409	4,309	8,684	104	8,789	△592	8,196

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、運送事業、太陽光発電事業などを含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△592百万円には、セグメント間取引消去221百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△814百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

(1) 四半期毎の業績の推移 (連結)

平成31年3月期 (連結)

(単位: 百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	30年4月～30年6月	30年7月～30年9月	30年10月～30年12月	31年1月～31年3月	30年4月～31年3月
売上高	28,091	31,896			59,987
売上総利益	10,517	10,867			21,385
営業利益	3,998	4,197			8,196
経常利益	5,066	4,979			10,045
税金等調整前当期純利益	5,043	4,949			9,992
親会社株主に帰属する当期純利益	2,829	3,184			6,013
総資産	218,642	220,088			—
純資産	161,987	165,729			—

平成30年3月期 (連結)

(単位: 百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	29年4月～29年6月	29年7月～29年9月	29年10月～29年12月	30年1月～30年3月	29年4月～30年3月
売上高	25,641	27,824	29,967	31,406	114,840
売上総利益	10,521	10,588	11,611	10,476	43,197
営業利益	4,331	4,331	5,439	3,881	17,984
経常利益	5,094	5,298	6,297	4,059	20,750
税金等調整前当期純利益	5,100	5,275	6,303	4,060	20,740
親会社株主に帰属する当期純利益	2,955	3,414	4,033	2,317	12,721
総資産	196,545	204,738	211,629	219,988	—
純資産	149,106	155,844	161,781	163,255	—

平成29年3月期 (連結)

(単位: 百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	28年4月～28年6月	28年7月～28年9月	28年10月～28年12月	29年1月～29年3月	28年4月～29年3月
売上高	24,714	25,784	25,853	33,217	109,569
売上総利益	9,603	9,874	10,223	11,574	41,275
営業利益	3,794	3,691	4,389	5,059	16,934
経常利益	3,868	3,865	5,434	5,610	18,779
税金等調整前当期純利益	3,844	3,828	5,479	6,641	19,793
親会社株主に帰属する当期純利益	2,327	2,424	3,602	3,874	12,228
総資産	183,478	184,466	188,604	197,260	—
純資産	136,265	135,991	137,483	146,502	—

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を適用前の数値です。

## (2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

報告セグメント		売上高				セグメント利益又は損失(△)			
		前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減額	増減率	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減額	増減率
薬品事業	日本	13,704	14,380	676	4.9%	2,523	2,194	△ 329	△13.0%
	アジア	8,256	8,497	241	2.9%	1,703	1,522	△ 180	△10.6%
	欧米	427	449	21	5.0%	139	144	4	3.3%
	セグメント間の内部売上高又は振替高	590	467	△ 122	△20.8%	227	103	△ 123	△54.5%
	計	22,980	23,796	815	3.6%	4,594	3,964	△ 629	△13.7%
装置事業	日本	4,851	5,416	565	11.6%	123	119	△ 4	△3.7%
	アジア	2,074	6,168	4,093	197.3%	177	149	△ 28	△15.9%
	欧米	25	—	△ 25	—	2	△ 15	△ 17	△702.7%
	セグメント間の内部売上高又は振替高	195	128	△ 67	△34.7%	59	156	96	162.5%
	計	7,147	11,712	4,565	63.9%	363	409	46	12.7%
加工事業	日本	12,780	13,443	663	5.2%	2,469	2,747	277	11.2%
	アジア	5,608	5,902	294	5.2%	1,293	1,078	△ 214	△16.6%
	欧米	3,253	3,366	112	3.5%	333	393	60	18.1%
	セグメント間の内部売上高又は振替高	18	23	4	27.1%	98	89	△ 8	△8.9%
	計	21,660	22,735	1,074	5.0%	4,194	4,309	114	2.7%
報告セグメント計		51,788	58,244	6,455	12.5%	9,152	8,684	△ 468	△5.1%
その他	日本	2,438	2,329	△ 109	△4.5%	132	111	△ 21	△16.0%
	アジア	43	32	△ 10	△24.1%	△ 26	△ 6	20	75.9%
	欧米	—	—	—	—	—	—	—	—
	セグメント間の内部売上高又は振替高	576	616	39	6.9%	0	0	0	—
	計	3,059	2,978	△ 80	△2.6%	105	104	△ 0	△0.8%
合計		54,847	61,223	6,375	11.6%	9,258	8,789	△ 469	△5.1%
調整額		△ 1,381	△ 1,235	146	10.6%	△ 595	△ 592	2	0.4%
連結損益計算書計上額		53,466	59,987	6,521	12.2%	8,663	8,196	△ 467	△5.4%

## 所在地別セグメント情報

(単位：百万円)

所在地	売上高				営業利益			
	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減額	増減率	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減額	増減率
日本	35,986	38,034	2,048	5.7%	5,344	5,116	△ 227	△4.3%
アジア	16,013	20,644	4,631	28.9%	3,149	2,736	△ 413	△13.1%
欧米	3,710	3,815	104	2.8%	475	522	47	9.9%
合計	55,710	62,494	6,784	12.2%	8,969	8,375	△ 594	△6.6%
調整額	△ 2,244	△ 2,507	△ 262	△11.7%	△ 305	△ 178	126	41.5%
連結損益計算書計上額	53,466	59,987	6,521	12.2%	8,663	8,196	△ 467	△5.4%



## (3) 四半期毎の業績の推移(提出会社個別)

平成31年3月期(提出会社個別)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	30年4月～30年6月	30年7月～30年9月	30年10月～30年12月	31年1月～31年3月	30年4月～31年3月
売上高	11,420	12,764			24,184
売上総利益	4,307	4,229			8,536
営業利益	1,333	1,162			2,495
経常利益	2,344	1,944			4,289
税金等調整前当期純利益	4,410	1,925			6,335
当期純利益	3,484	1,521			5,005
総資産	115,870	120,009			—
純資産	77,390	84,599			—

平成30年3月期(提出会社個別)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	29年4月～29年6月	29年7月～29年9月	29年10月～29年12月	30年1月～30年3月	29年4月～30年3月
売上高	10,693	11,745	11,572	12,675	46,687
売上総利益	4,104	4,076	4,594	3,935	16,711
営業利益	1,420	1,315	1,789	1,166	5,692
経常利益	2,730	2,177	2,195	3,050	10,154
税金等調整前当期純利益	2,746	2,164	2,192	3,062	10,166
当期純利益	2,059	1,623	1,644	2,435	7,764
総資産	102,901	107,966	107,788	114,643	—
純資産	75,402	79,467	81,036	81,751	—

平成29年3月期(提出会社個別)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	28年4月～28年6月	28年7月～28年9月	28年10月～28年12月	29年1月～29年3月	28年4月～29年3月
売上高	9,966	10,732	10,702	11,985	43,387
売上総利益	3,972	4,080	4,354	4,293	16,701
営業利益	1,283	1,232	1,568	1,342	5,426
経常利益	1,968	1,793	2,356	2,575	8,694
税金等調整前当期純利益	1,945	1,758	2,400	3,858	9,963
当期純利益	1,459	1,318	1,800	2,894	7,473
総資産	93,498	97,280	97,919	102,012	—
純資産	68,849	71,302	70,880	73,230	—

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を適用前の数値です。